

# 中山道大湫宿

山間に残された宿場まちの原風景に出会う

標高510mの場所に設けられた大湫宿は、明治以降、交通の主流から外れたがゆえに、現在も往時の姿のままひっそりと高原上に残った宿です。宿は“おおくてマンガラ”と言ってお釈迦様の手の中のように安心して暮らせる場所と言われてきました。(距離：約1km)

## ① 大湫コミュニティセンター

和宮降嫁や大湫宿に関する資料が展示されています。ここで宿場のことを学び、大湫宿散策にでかけましょう。



## ② 十三峠の文学碑

十三峠は、大湫宿から東の大井宿までの三里半の間に、「十三峠におまげが7つ」と言われ20余りの山坂路が続く中山道の難所です。享和2年(1802)に書かれた大田南畝の「壬戌紀行」にも紹介されていることから町民の手によって峠の入口に文学碑が建てられました。



## ③ 寺坂の石仏群

宿の東の鬼門除けで大湫宿が一望できる場所になっています。三百年近く前の正徳3年(1713)の観音菩薩像や古い馬頭観音石像が、宿内の無事と十三峠の道中の安全を見守るように並んでいます。



## ④ 宗昌寺

関ヶ原合戦のあった慶長5年(1600)に、大湫村を開いた保々宗昌によって開基された寺で、本陣・脇本陣に次ぐ控え本陣として利用されていました。鐘楼の近くにある二体の如意輪観音をよく見ると台座に「女人講建立」とあり、村の女性たちによって建立されたことがわかります。これは、二十二夜様の夜に村の女性たちの講仲間が如意輪仏の前に集まって「二十二夜様のお立ち待ち」といって、心経や念仏を唱えて月の出を待ち、持ち寄りのお重や菓子を食べて団欒したものです。安産・婦人病の祈禱などを願う一方で、女性同士の数少ない娯楽、慰安、親交の場であったようで、昔から待講碑が建てられている村は女権が強い村であったとか。



## ⑤ 枅形

道がほぼ直角に折れ曲がっていますが、これを枅形と言います。枅形は城や宿場に多くみられ、防備の施設だとされています。

## ⑥ 尾州藩白木番所跡

尾張藩の役人が常駐し、木曾の材木流しや木材製品の監視、領内の山林の見回り、村々の木材の伐採申請の検分などを行う尾張藩林政の重要拠点の一つでした。

## ⑦ 本陣跡と皇女和宮歌碑

旧大湫小学校の校庭にかつての本陣がありました。和宮様がお泊りになった部屋は全て隣の土岐市の個人宅に移築されました。今は、ここには何も残っていませんが、跡には開宿390年の記念に建てられた和宮の歌碑があります。

遠ざかる 都と知れば旅衣 一夜の宿も 立ちうかりけり  
思いきや 雲井の袂 めぎかえて うき旅衣 袖しぼるとは



## ⑧ 問屋場跡

公用荷物の継立や大名行列時の宿割、人馬の割り当てなど宿の雑務全般にあたった場所です。

## ⑨ 白山神社

宿場発足直後の慶長17年(1612)の再建棟札のある古い神社で、神明神社とともに一村二社という特例が認められ、大湫宿の鎮護社として町民の崇敬を受けてきました。大湫宿と言えば神明神社の大杉が有名ですが、ここにもかつて大杉があり、名古屋城改築の用材として何度も伐採命令を受けながらも宿民が一丸となって守り通してきました。ところが、昭和22年に大湫中学を立てるために姿を消すこととなり、その後、中学も廃校になってしまいました。



## ⑩ 脇本陣 (国登録文化財)

当初本陣であったものが享保10年(1727)に脇本陣となりました。上段の間などは取り壊されてしまったものの、門や庭などが残っていて往時の姿を偲ぶことができます。



## ⑫ 秀峰山円通閣 (観音堂)

「大湫宿に過ぎたもの」といわれた観音堂です。道中安全・病氣全快の観音様で、もとは神明神社の境内にありましたが、享保6年(1721)に今の場所に移されました。2度に渡る宿の大火に類焼し、現在のお堂は弘化4年(1847)に建てられたものです。三尾峯峯筆による60枚の絵天井が見事で、春になるとあたりに桜が咲き誇る大湫宿のベストビューポイントです。



## ⑬ 高札場跡

現在の高札場は寛政12年(1800)に描かれた絵図面をもとに平成10年に復元したものです。



## ⑪ 神明神社と大杉 (県指定文化財)

神明神社は大湫宿の鎮守の宮として慶長13年(1608)に建立されました。境内に立つ大杉は、「大湫宿にすぎたもの」と言われ、樹齢約1300年、周囲11m、高さ60mの大木に今なお青々と枝を茂らせている宿の自慢の御神木です。大杉の根元には、白蛇の泉と黒蛇の泉という2つの泉があります。大湫は水不足に悩まされることの多かった場所で、村人たちが雨乞いをするとう蛇が現れて大杉の根元に入っていました。早速、そこを掘ってみるとコンコンと湧く泉が見つかりました。十数年後に再び水不足で雨乞いをしたところ、今度は黒蛇が現れ大杉の東側の根元に入っていました。すると今度は以前の何倍も水量の泉を掘りあてることが出来たそうです。

### 琵琶峠

美濃の中山道の中で一番高い峠です。峠の石畳は昭和45年に発掘されたもので、長さ1km余りの日本一長い石畳として中山道の名所となっています。

### 二つ岩

二つ岩、弁慶岩、夫婦岩、陰陽岩などと呼ばれ、中山道の名物の一つで大田南畝の「壬戌紀行」にも「誠に目を驚かす見ものなり」と書かれています。



### 昔の大湫名物「氷餅」

本陣山の中腹に「氷餅の池」があります。寒い大湫の中でも特に寒いこの池で、蒸した餅米を池に浸し、数日寒晒して干し、粉にして水で練って、のし餅にし、1週間以上凍らせて乾かすと夏でも変質しない無菌の氷餅が出来ました。大湫の人の知恵の詰まった名物です。

### 今の大湫名物「100円モーニング」

高札場からJR釜戸駅方面へ少し歩いたところにカフェ「こぶし」があります。地域の方が運営をしているカフェで、なんと100円でモーニングがいただけます。地元の人たちにまじって街道を歩く外国のお客様も時々訪れるそうです。  
営業日：毎月第2・4土曜日 9:00~11:00